

# 要望書

国産いぐさ畳表の需要拡大について



【令和7年8月大雨により浸水したいぐさ畳表】

令和7年11月

熊本県八代市

熊本県氷川町

八代地域農業協同組合

畳表となるいぐさは、熊本県八代地域の基幹作物であり、約 520 年の栽培の歴史を有し、当地域の作付面積は全国の 9 割以上を占める日本一の産地として、日本の住宅文化を支えています。

しかしながら、生活様式の変化による畳需要の減少や外国産畳表及び工業畳表との競合による国産いぐさ畳表の需要減少及び価格低迷等により、生産者数、作付面積ともに、ピーク時の平成元年の約 30 分の 1 にまで減少しており、産地の存続が危ぶまれる状況となっております。

また、今年 8 月 10 日からの大雨により、生産者の織機をはじめとする多くの専用機械が冠水し、更新や修繕が必要となり、畳表の生産ができなくなっている生産者も出てきているほか、今回の災害をきっかけにいぐさ・畳表の生産継続を断念する生産者も出てきており、産地の存続のために、より強力な支援が求められています。

いぐさ畳表には、日本の気候に適した湿度調節機能、シックハウスの原因とされる化学物質を吸着し、空気を浄化する作用、優しい香りで心を癒すリラックス効果などの効用があります。

このように様々な効用のある国産いぐさ畳表の需要拡大を目的として、当地域では、全国唯一の産地として、国産いぐさ畳表の魅力を広く全国の消費者の方々に共有していただくため、消費者が産地や生産者の確認を行うことのできる熊本県統一産地表示（QR コード付タグ）の普及、地理的表示（GI）保護制度の活用などの取組を積極的に行っているところです。

つきましては、日本の伝統文化である畳を次世代につないでいくため、現在国における「和の住まい」の推進について、より強力に実施していただき、日本の住文化の良さの再発見及び普及により和室の維持を図っていただくとともに、住宅メーカーや建築士等が参加されるシンポジウムでの国産いぐさ畳表の啓発や畳の新たな利活用に対する情報提供など、住宅関係団体を巻き込んだ活動への一層のご支援をお願いします。

併せて、国の施策において、公共施設等での和室設置を推進し、国産いぐさ畳表を指定するなど、国産いぐさ畳表の利用促進策の積極的展開をお願いします。

令和7年11月

八代市長

小野泰輔

氷川町長

藤本一臣

八代地域農業協同組合  
代表理事組合長

山住昭二